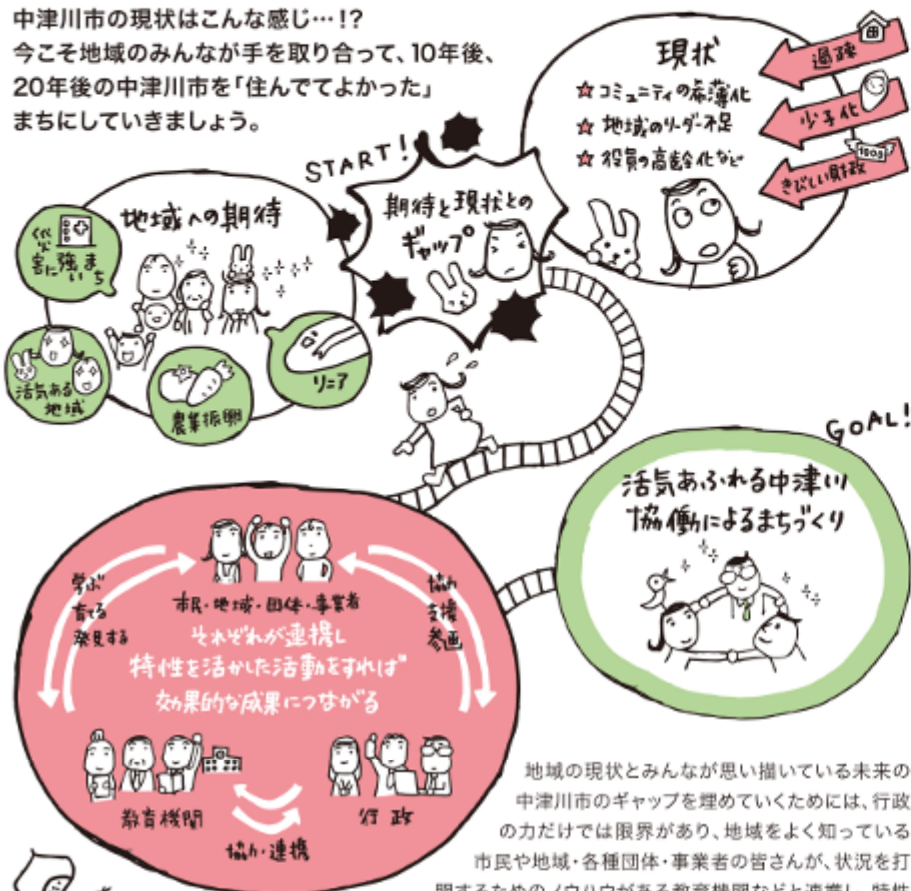


# いきいきとした地域づくりを スタートさせよう！

中津川市の現状はこんな感じ…!?  
今こそ地域みんなが手を取り合って、10年後、  
20年後の中津川市を「住んでよかった」  
まちにしていましょ。



地域の現状とみんなが思い描いている未来の中津川市のギャップを埋めていくためには、行政の力だけでは限界があり、地域をよく知っている市民や地域・各種団体・事業者の皆さんが、状況を打開するためのノウハウがある教育機関などと連携し、特性を活かした活動を行うことが効果的な地域活動につながります。

中津川市では、市民協働指針策定委員のみなさんと何度も話し合いを重ね、『なかつがわ市民協働の手引き』を作成しました。内容については、下記の担当窓口にお気軽にお問い合わせください。

協働をやってみたい！詳しく話を聞きたい！と思ったら…お問い合わせはこちら



岐阜県中津川市 定住推進部 市民協働課

Tel 0573-66-1111

Fax 0573-65-5273 E-Mail kyodo@city.nakatsugawa.lg.jp

協働とは、行政と市民団体やNPOのみなさんが対等な立場で互いの良いところを活かしながら連携・協力してより良い暮らしづくりを担っていく活動のことです。

中津川市 市民協働指針

## みんなの地域は みんなで作る

なかつがわ市民協働の手引き  
(概要版)

中津川市では「かがやく人々 やすらげる自然 元気あふれる中津川」をキーワードに協働指針を策定しました。そこで、市と一緒に目的を共有し活動してくれる団体や事業者を求めています。行政と民間、お互いの強みを活かすことで単独で活動するより良い取り組みができます。「みんなの地域はみんなで作る」この仲間を増やすため、まずは協働について一緒に考えてみませんか。

# 協働ってたとえばこんなこと

中津川市では、すでに協働の取り組みを実施している地域などがあります。どの活動も建設的な意見が取り交わされた、貴重な取り組みばかりです。



きれいになったね

四ツ日遊砂工環境整備



おいしかったね

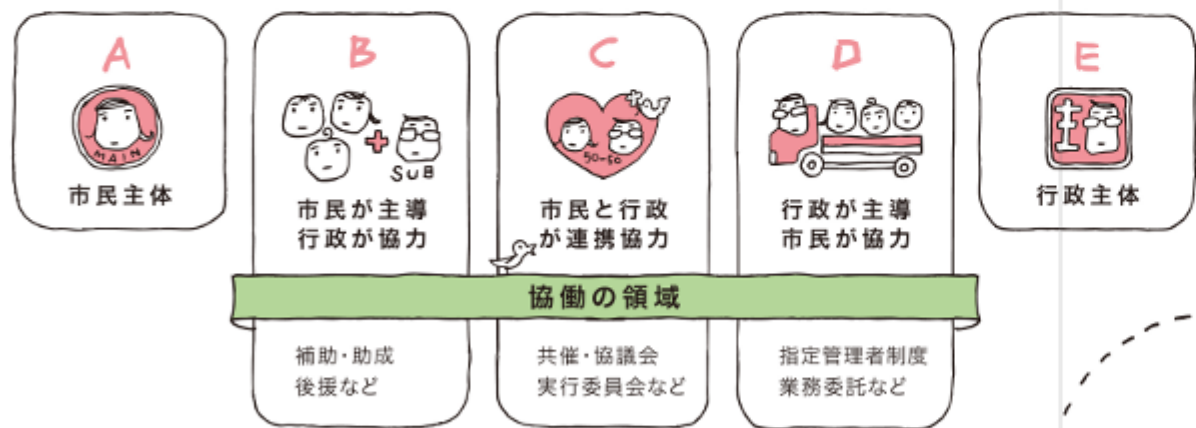
みんなでつくる地域の宝！五平餅



よくわかったね

地形的リスクを学ぶ学習会

## 協働の『領域』って？



様々な取り組みには、誰が主体で解決すべきかという「責任領域」があります。

上はその領域を示したもので、Aの市民のみなさんが主体となって解決するものから、Eの行政が主体となって解決するものがあり、中間であるBからDは、市民のみなさんと行政との連携で取り組むものになります。協働の領域は、このBからDです。

## 取り組みを成功に導くための4ステップ

いざ、取り組み！

違う立場の人たちが集まるんだから、意見は多種多様で当たり前！気の済むまで話し合っ、壁を無くしてしましましょう。

大丈夫！「中津川を良くするぞ！」という気持ちは、みんな同じです。

どうしても解決したい  
地域課題

### 1

#### 『準備の準備』



第1段階は「準備の準備」。何が求められているかニーズ調査を行い課題を共有し、事業の目的を明確にします。

### 3

#### 『実施』



そして、ようやく「実施」。話し合いで決めた方法や役割で実際に活動します。

### 2

#### 『準備』

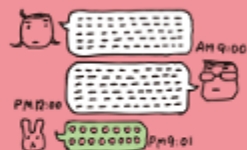


第2段階は「準備」。ここでは、事業の目的を達成するための事業計画や予算を立てます。



### 4

#### 『評価』



最後に、「評価」を行います。協働に携わったみなさんと、実施した取り組みについて再度話し合います。

#### チェックリスト、あります！

「じゃあ、どんなことに気を付けて協働をはじめたらいいの？」

そんなみなさんの声にお応えするため、また取り組みを始めたい方への参考として、4つのステップごとにどのようなことに気を付けて取り組んだらいいかをリストにしました！一緒に行動される方々や、相手方との話し合いの時などにぜひご利用ください。

チェックリストが欲しい、活用したい！  
と思ったら…お問い合わせ窓口はこちらです